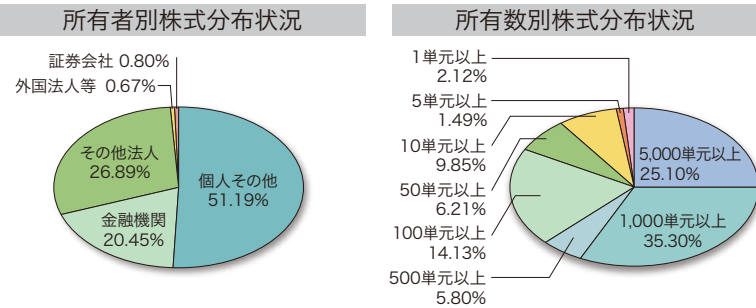


会社概要

会社の概況 (2023年12月31日現在)
 社名 星和電機株式会社
 SEIWA ELECTRIC MFG. CO., LTD.
 本社所在地 京都府城陽市寺田新池36番地
 創業 1945年10月1日
 資本金 36億48百万円
 従業員数 連結 620名 単体 504名
 主な事業内容 情報表示システム
 産業用照明機器
 道路・トンネル照明機器
 照明用LEDモジュール製品
 ノイズ対策製品
 配線保護機材

株主の状況 (2023年12月31日現在)
 発行可能株式総数 33,782,000株
 発行済株式の総数 13,238,700株
 株主数 3,243名



取締役および執行役員 (2024年3月28日現在)

取締役社長 (代表取締役)	増山晃章	取締役執行役員	河合隆	執行役員	古田雅也
取締役常務執行役員	乾勝典	取締役執行役員	水本和治	執行役員	成平幸弘
取締役常務執行役員	春山雅彦	取締役(監査等委員)	望月友彦	執行役員	谷口浩二
取締役執行役員	寺垣敬司	取締役(監査等委員)	益満清輝※	執行役員	岩見恵一
取締役執行役員	竹之内光彦	取締役(監査等委員)	千代田邦夫※	執行役員	長谷部卓也
取締役執行役員	小林浩幸	※社外取締役		執行役員	十倉充伸
				執行役員	倉本剛

株主メモ

事業年度 毎年1月1日から12月31日まで
 定時株主総会 3月
 基準日 定時株主総会 12月31日 期末配当 12月31日 中間配当 6月30日
 単元株式数 100株
 公告方法 当社のホームページ(<https://www.seiwa.co.jp/>)に掲載します。
 ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載します。
 株主名簿管理人 みずほ信託銀行株式会社 同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目3番3号
 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

お問い合わせ先	証券会社等で株式を保有されている場合	証券会社等で株式を保有されていない場合(特別口座の場合)
住所変更、株式配当金受取り方法の変更およびマイナンバーのお届出などのお問い合わせ	お取引の証券会社等になります。	みずほ信託銀行 証券代行部 ホームページ https://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/index.html フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
未払配当金、その他当社株式関係書類についてのお問い合わせ	右記みずほ信託銀行までお問い合わせ願います。	電子提供制度専用ダイヤル 0120-524-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
株主総会資料の電子提供制度(書面交付請求)についてのお問い合わせ	お取引の証券会社または右記みずほ信託銀行までお問い合わせ願います。	
ご注意		特別口座では、単元未満株式の買取以外の株式売買はできません。株式の売買にあたっては、証券会社等に口座を開設し、株式の口座振替手続を行っていただく必要があります。
株式等に関するマイナンバーのお届出のお願い	・株式等の税務関係のお手続に関しては、マイナンバーのお届出が必要です。 ・お届出が済んでいない株主さまは、上記お問い合わせ先へマイナンバーのお届出をお願いします。	

リニューアルのお知らせ
 この度、株主の皆様により分かりやすく、より身近に感じていただけるように、株主向けの冊子の名称を「報告書」から「株主通信」に変更し、内容やデザインをリニューアルいたしました。今後も株主の皆様にご満足いただける株主通信を目指してまいりますので、引き続きよろしくお願いいたします。

ホームページのご案内
 当社では、ホームページにて企業情報を随時開示しております。製品情報、新着情報等のほか、株主・投資家情報ページでは、決算短信等を掲載しております。
株主・投資家情報→<https://www.seiwa.co.jp/ir/>

第76期
 株主通信

2023年1月1日▶2023年12月31日

<https://www.seiwa.co.jp/>



「陽春の候」第21回城陽市観光協会フォトコンテスト【城陽市観光協会・入選賞】

株主のみなさまへ

株主のみなさまには、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

このたびの「令和6年能登半島地震」によりお亡くなりになられた方々に謹んでお悔やみ申し上げますとともに、被災された皆様におかれましては心よりお見舞い申し上げます。被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

さて当社グループ第76期(2023年1月1日から2023年12月31日まで)の事業が終了しましたので、その概要をご報告申し上げます。

2024年3月

取締役社長

増山晃章



当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類移行により社会経済活動の正常化が進み、インバウンド需要の回復などもあり景気は緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、ウクライナや中東などの地政学的リスク、為替の変動や物価上昇の影響などにより、依然として景気の先行きは不透明な状況が続きました。

このようななか、当社グループにおきましては、マーケティング機能の拡充とソリューション営業力の強化を図り、競争力ある新商品の開発を進め、生産体制の強化により原価低減を図ることで収益性の向上に取り組んでまいりました。

当社は第77期より、新中期経営戦略の元、中期経営方針である「持続可能な組織の実現」に向け、モノづくり、市場創出、技術の観点で取り組んでまいります。また、「SEIWA SDGs」を軸としてさまざまな社会課題に取り組むとともに、「持続可能な社会の実現」にも努めてまいります。

また、ひきつづき内部統制およびコーポレートガバナンスの強化、コンプライアンスの徹底に全社をあげて取り組んでまいります。株主のみなさまにおかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。

新中期経営戦略(2024年~2026年)

◇ 経営方針

環境変化に適応した俊敏な事業活動により、マルチコアカンパニーとして進化し続ける企業を目指す

◇ 中期経営方針

持続可能な組織を実現するために Seiwa Way(※)の思想に基づき責任ある行動をする

※Seiwa Wayとは2015年に導入した「経営理念」、「私たちの働く目的」を実現するために、星和電機の社員としてどのような価値観を共有し、どのような仕事の仕方をすべきかあらわした思想です。

モノづくり

製販のチームワークにより、高品質、低コスト、短納期を追求し、常に進化し続ける

市場創出

既存領域から未知の領域へ情報感度を高め、新市場を開拓し、新規事業を創出する

技術

コア技術の強化・ノウハウの継承により、新技術・新製品開発を加速させる



星和電機株式会社

<https://www.seiwa.co.jp/>
 京都府城陽市寺田新池36番地
 TEL: 0774-55-8181





売上高	237億60百万円 (前年比 1.4%増)	営業利益	10億41百万円 (前年比 32.5%減)	親会社株主に 帰属する 当期純利益	7億93百万円 (前年比 27.9%減)
純資産	156億47百万円 (対前年 15億36百万円増)	総資産	279億39百万円 (対前年 3億68百万円減)	自己資本 比率	55.9% (前年度 49.7%)

事業別の概況

情報機器事業

↑

売上高

91億28百万円
(前年比 3.9%増)

↓

セグメント利益

9億57百万円
(前年比 37.9%減)

高速道路向けは前年に比べ減少しましたが、一般道路向けは増加となりました。
セグメント利益は原材料の価格高騰および人件費の上昇により減益となりました。

照明機器事業

↑

売上高

86億53百万円
(前年比 7.6%増)

↑

セグメント利益

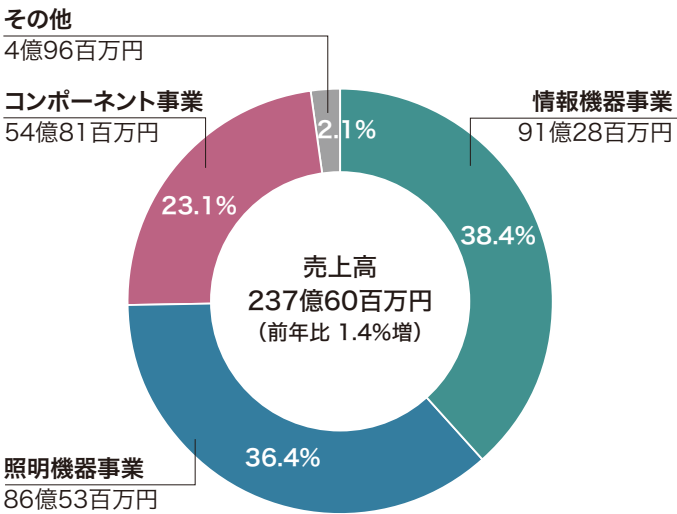
13億75百万円
(前年比 58.7%増)

民間設備関連の産業用照明器具におきましては、売上高が前年に比べ増加しました。
公共設備関連におきましても、道路・トンネル照明器具の売上高が増加しました。
セグメント利益は増収による増益となりました。

Pick UP! New Products

防爆形非常用LED灯器具「VZBP」シリーズ

「光源併用形」を採用し、光源を常用時と非常時に共通使用できる仕様になっています。
このため、先行発売の防爆形LED灯器具「LZBP」シリーズと発光面積が同じのため、常用灯と非常用灯の開口寸法が統一され、器具設置後の見上げの統一感が向上します。
また、「光源併用形」により非常時の発光面積が広くなり、停電時の安全確保に貢献します。



コンポーネント事業

↓

売上高

54億81百万円
(前年比 10.3%減)

↓

セグメント利益

3億89百万円
(前年比 46.2%減)

配電盤や機械装置に用いる産業用配線保護機材は前年に比べ増加となりましたが、エアコン用の配管保護機材は微減となりました。
電磁波環境対策部品は半導体市場の調整局面等の影響を受け、減少しました。
セグメント利益は電磁波環境対策部品の減収により減益となりました。

トピックス

情報機器事業 安全管理優良受注者として表彰

当社は国土交通省 関東地方整備局長より 令和4年度優良工事等表彰で「安全管理優良受注者」として表彰されました。
関東地方整備局発注工事の累計完成工事量が多く、無事故を継続している受注者が対象となります。
当社は3年連続で受賞しており、今後も継続して受賞できるよう、全社一丸となった安全管理への取り組み、そして労働災害防止の徹底に努めてまいります。



照明機器事業 アルミ筐体LEDトンネル照明器具を発売

トンネル照明のシェア拡大を図ることを目的に、新たな付加価値をつけた新製品「アルミ筐体LEDトンネル照明器具」(KAAシリーズ)を発売しました。
① 基本照明に電流可変機能を設け、100(lm)単位で器具光束の調整を可能とし、無駄のない最適設計を行うことでさらなる消費電力削減に貢献します。
② ガラスカバー開閉機構と端子台追加により、現場でのLEDモジュール・LEDモジュール制御装置・蓄電池の現地交換が可能となり、維持管理性が向上しました。



基本照明 KAA 形

コンポーネント事業 10m法電波暗室が「ISO/IEC17025:2017試験所」に認定

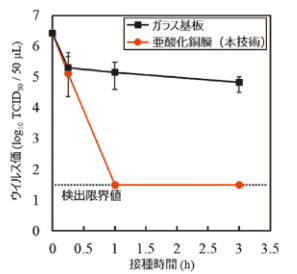
EMC Lab1 (10m法電波暗室)は、2023年7月1日、株式会社電磁環境試験所認定センター (VLAC)より国際標準規格ISO/IEC17025:2017の技術的能力事項およびマネジメントシステム要求事項を満たしている「ISO/IEC17025:2017試験所」として認定を受けました。この認定は、高品質な試験を提供できることを証明するものであり、お客様に対してより信頼性の高いサービスを提供することができるようになりました。
各種対策部材や経験豊富な対策スタッフによるサポートなど充実した体制で、予備試験から規格適合試験まで同じ環境で実施することが可能です。



研究開発活動 透明な亜酸化銅(Cu2O)薄膜のCOVID-19ウイルス不活化機能と薄膜結晶性の依存性解明

当社と工学院大学、大阪大学、大阪公立大学の共同研究グループは、分子プレカーサー法で形成した亜酸化銅(Cu2O)薄膜が、1時間で99.999%のSARS-CoV-2(COVID-19)を不活化できることを明らかにしました。
本技術は、酸化銅プレカーサー溶液を塗布後、紫外光照射することで薄膜形成可能であり、高真空環境や熱処理を必要としないため、プラスチック基材のような非耐熱材質にも適応可能であり、生活環境・医療器具への抗ウイルス機能付加が期待できます。
当研究成果は国際学術誌『Functional Materials Letters』に掲載されました。

「Dependence of SARS-CoV-2 (COVID-19) inactivation ability on the crystallinity level of transparent Cu2O thin films」
学術論文『Functional Materials Letters』DOI: 10.1142/S1793604722510535
著者Hsiang-Jung Wu, Takashi Douura, Kyoko Kumagai, Hiroki Nagai, Hiroshi Kawakami, Emi E. Nakayama, Tatsuo Shioda, Mitsunobu Sato



SEIWA SDGs

人・組織 4年ぶりに「星和運動会」開催しました

従業員の健康促進とコミュニケーション向上を目的に星和電機 大運動会を4年ぶりに開催しました。従業員とその家族約300名が参加し、事業部別の5チームに分かれ、楽しみながらチームワークを高め、従業員同士のコミュニケーションを深めました。

